



# 感想を共有し、鑑賞を深める

佐賀大学×佐賀電算センター  
美術館鑑賞アプリ「あとみる」**開発/実証中**

場所：佐賀県立美術館 OKADA-ROOM

日程：2024年1月17日(水)/21日(日)/27日(土)

2月2日(金)/6日(火)/12日(月・祝)/17日(土)

時間：11:00～ / 15:00～ 予約不要・入退場自由

所要時間：1時間程度



# 絵の鑑賞のやり方がわからず、美術館を 楽しめなかった経験はありませんか？

本アプリ「あとみる」は、作品ごとに問いかけを設定しており、鑑賞のヒントを提供します。



久富君像  
太宰治  
\*佐賀大学美術館収蔵

(問いかけ例)

作者の太宰と描かれている久富はどのような関係だと思いますか。

また、どこからそのように感じますか。



バラが描かれているから、同じ情熱を持つ同志だったのではないか

色使いや線の力強さ・思い切りの良さから、友人であるように感じる



このように他者と意見を共有することで、**自分の視点を増やすことができるのが、本アプリの特徴です。**

## ◆利用者の声

・今までは作品をパッと見て立ち去るような作品でも、問いかけがあることで作品をまじまじと見てしまった。

・ひとりで鑑賞すると自分だけの視点からしか見られないが、意見が共有できることで違った見え方も知れて、鑑賞が楽しくなった。

[アプリ監修者]藤井康隆(佐賀大学芸術地域デザイン学部准教授)  
[アプリ開発企画]川浪綾乃/畠山志穂/山崎奏音(佐賀大学芸術地域デザイン学部学生)

お問合せ先  
E-mail:dxposdc@gmail.com  
担当者：丹野

あとみるSNS



2024年1月18日

株式会社佐賀電算センター

## P R E S S   R E L E A S E

### 佐賀大学生と開発した美術館鑑賞アプリのイベントを開催します

国立大学法人佐賀大学 芸術地域デザイン学部博物館学研究室(藤井康隆准教授)と株式会社佐賀電算センター(代表取締役社長:宮地大治、佐賀県佐賀市)は、美術館鑑賞アプリの開発に取り組んでいます。このたび、佐賀県立美術館 OKADA-ROOM Vol.29 の作品と場所をお借りしてアプリの試用イベントを行います。

#### ▼公開・試用イベント

主催:国立大学法人佐賀大学 芸術地域デザイン学部博物館学研究室  
株式会社佐賀電算センター

日程:2024年 1月17日(水)/21日(日)/27日(土)  
2月2日(金)/6日(火)/12日(月・祝)/17日(土)

時刻:11:00~/15:00~ 各日2回

所要時間:1時間程度 入退場自由

場所:佐賀県立美術館 OKADA-ROOM

集合場所:佐賀県立美術館 OKADA-ROOM 前



画面イメージ



本アプリは、美術の見方や着眼点がわからず、美術を楽しめない人のために開発しました。美術館でよく利用されている作品を解説するアプリとは異なり、作品ごとに問いかけ

を設定しています。鑑賞者はそれを受けて想いを巡らせ、自分の意見や見方を入力することで作品との深い対話を行うことができます。予備知識を必要とせず、他の鑑賞者と感想や着眼点を共有でき、共感や新たな気づきを得ることで多くの方に美術を楽しんでもらえるものとなっています。

純粹に作品と向き合い、自分なりの楽しみ方を見つけることができるのが特徴です。

株式会社佐賀電算センターは佐賀大学との共同開発やデジタル人材育成に関する包括連携協定を締結しており、その一環の活動として今後も大学教員・学生と佐賀大学内に設置している当社の R&D センターを核として共同実証・開発を行っていき、地域産業活性化に資してまいります。

<本件に関するお問い合わせ> TEL：0952-34-1500 / E-mail:dxpo@sdcons.co.jp  
株式会社佐賀電算センター 経営管理本部 DX 推進室 丹野・澄川  
佐賀大学芸術地域デザイン学部（藤井）E-mail：fujiiyas@cc.saga-u.ac.jp